

慶應義塾大学大学院 文学研究科 修士課程

国文学専攻 日本語教育学分野

3つのポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

国文学専攻日本語教育学分野では、課程修了時に学生が身につけるべき能力として以下のものを定め、学則に従って修了要件を満たし、修士論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、修士（日本語教育学）の学位を与える。

1. 日本語学、日本語教育学の分野において、研究領域全般に関する専門知識を身につけ、研究テーマについて自ら調査・研究を行い、その成果をまとめることができる。
2. 日本語学、日本語教育学の分野において、修士論文を執筆して審査に合格し、さらに、修士論文の研究テーマに関連する領域については、包括的で深い専門知識を有し、その領域の研究に貢献をすることができる。
3. 高度な日本語コミュニケーション能力を身につけ、日本語の歴史的特性と文化的背景を理解し、高度な異文化リテラシーを備えた社会人、研究者、教育者として国際社会で力を発揮できる。

【カリキュラム・ポリシー】

国文学専攻日本語教育学分野では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成する。

1. 日本語学、日本語教育学の領域において、日本語文法、日本語音声学、文字・表記、日本語史、談話分析、語彙と意味、教授法などの講義演習科目群を設置するとともに、社会調査、古典文学等の関連科目も開講することで、研究を展開するために必要な専門知識、調査能力、一次資料分析能力を養成する。
2. 修士論文の完成に向けて、指定された指導教員が中心となって個別論文指導を行い、研究テーマについての知識を深めるとともに、高度な研究能力および論述力を養う。また、分野の修士論文中間報告会等の開催を通じて、複数の教員から指導を受ける機会を提供する。
3. 日本語学、日本語教育学で学んだ研究理論や方法論を実践面でも活用できるように、本塾日本語・日本文化教育センターとの協力の下、本塾留学生に対して日本語教育を行う機会を設ける。
4. 高度な異文化リテラシーを身につけるために、文学研究科や本塾大学国際センター

によって提供される留学プログラムなどを活用して、海外の大学院での修士学位取得を目的とした長期留学、単位取得を推奨する。

【アドミッション・ポリシー】

国文学専攻日本語教育学分野修士課程では、次のような資質を持つ学生を求めている。

1. 学部時代に専門科目の履修ならびに卒業論文の執筆を通じて、自身の専門領域についての理解を深め、専門領域全般についての基礎知識を有している。
2. 大学院で何をどのような方法で研究したいのかという研究計画を立てることができ、専門家からの助言を受けながら、計画に従って研究を進めることができる。
3. 日本語学、日本語教育学をはじめ、日本語ならびに日本研究のための資料を自らの母語で正確かつ批判的に読むことができ、それについて討論する能力を身につけている。
4. 研究資料の解読に必要な基礎的な外国語の能力を有している。
5. 修士課程修了後の社会人、研究者としての将来設計について積極的に考えている。
6. 〈留学生の場合〉将来、日本語教育ならびに日本研究の分野で活躍するために、高度な日本語能力を修得し、それを活用しようとする強い意欲を有している。
7. 〈社会人の場合〉当該分野に強い関心を持ち、将来的に日本語教育の領域で活躍が期待される意欲ならびに資質を有している。